

第 26 回参議院議員通常選挙に向けた声明文

2022 年 6 月 20 日

市民連合ふくおか

共同代表 出水 薫（九州大学教授）

星乃治彦（福岡大学名誉教授）

市民連合ふくおかは、今回の第 26 回参議院議員通常選挙（2022 年 6 月 22 日公示）に当たり、市民の声を下記 4 項目にまとめ、政策要望書の原案として、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組、ふくおか緑の党といった立憲勢力の各党に示しました。この間懇談を重ねた結果、最終的に 6 月 16 日（木）、各党がその内容を受け入れ実現に向けて努力する、と確認することができました。

とくに今回の選挙では、ウクライナ情勢を口実に、日本国憲法 9 条が大きな争点となっており、9 条に手を付けようとする自由民主党、公明党、日本維新の会などの改憲勢力に対して、9 条を守ろうとする立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組といった立憲勢力の各党が対峙するという構図になっていると思います。

市民連合ふくおかは、この重大な選挙にあたり、4 項目の実現を心から望むとともに、とくに改憲勢力を抑え込み、立憲勢力の各党の議席の維持・拡大を図るために、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組を支持することをここに声明します。

記

参議院選挙に向けた政策要望書

1. 経済格差の是正に努めるとともに、地域経済の活性化を図る政策への転換

「今だけ、金だけ、自分だけ」の現状のような、行き過ぎた新自由主義経済では、持続可能な社会を築くことはできないと考えます。消費税負担の軽減を含め総合的な税制の公平化を目指し、低所得者層の税負担を軽減し、富裕層と大企業に応分負担を求めるとともに、最低賃金を引き上げて底上げを図り、平均所得全体の向上を図り、貧富の格差是正に努めます。派遣などの不安定雇用を減らし、公共部門の民間への切り替えを減らし、地域でお金が循環する経済に変えていきます。福岡県内でも可能性が消えていないカジノ誘致に反対します。

2. 誰もが安心して、自分らしく生きられる多様性ある社会の実現

コロナの感染拡大と長期化で私たちの暮らしは疲弊しています。コロナ禍で多くの人が仕事を失い、自殺者も増えています。日ごろから、医療、介護、教育や生活保護・失業手当・年金などの社会保障の充実を図り、誰もがいつでも安心して暮らせる社会に変えます。また、女性、若者、障がいのある人、外国人など多様な人の声を聴くことが大切で、そのためにはまず、ジェンダー平等社会をつくっていくことが必要だと考えます。性の多様性に配慮し、夫婦別姓、同性婚なども認められる、誰もが自分らしく生きられる社会を実現します。

3. 戦争と核兵器のない平和な社会の実現

ロシアのウクライナ侵攻で明らかなように、いったん武力攻撃が始まれば犠牲になるのは市民です。国際紛争は、軍事力の強化や特に核兵器による威嚇では解決できません。私たちは憲法9条の精神と「核兵器を持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核3原則を守り、戦争や紛争になる前に、日常的交流で相互信頼を築き、外交努力で問題解決を図ります。国連総会で採択され2021年に発効した核兵器禁止条約には早急に調印・批准します。

4. 原発に頼らず、地球環境が守れる社会の実現

もしも玄海原子力発電所で事故が起こったら、もし武力攻撃を受けたら、放射能汚染により私たちの生命・健康は損なわれ、暮らしは破壊されます。「核のゴミ」を安全に保管する場所也没有ありません。原子力発電所は無くす方向で考え、「原発の運転期間40年」の原則を厳守します。気候変動など地球環境の危機に対応するため、再生可能エネルギーを活用するなど脱炭素・脱原発社会を目指し、環境と経済が調和する地域分散型の社会を創っていきます。